

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高千穂町	下野西	平成28年1月27日	令和3年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	84.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	52.6ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	8.1ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.4ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

下野西地区では高齢化や若者の離農による労働力の低下によって生産活動や除草作業、水管理の負担が増えている。他にも未整備の農地、農道の基盤整備の必要性や鳥獣害被害の対策が求められている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

下野西地区の農地利用は、中心経営体である1法人組織及び認定農業者7経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>・集落営農法人の活用 作業受託組織から発展した集落営農法人に農地中間管理事業を活用して農地集積を行い、耕作放棄地の増加を防ぐ。 受託作業オペレーターを拡充し、雇用を確保することで地区内外からの新規就農者を受け入れる。 農業体験やツアーなどを誘致し、地区外からの移住者、新規就農者を受け入れる。</p>
<p>・スマート農業への取り組み ドローンを活用した防除作業を行い、従来方式からの省力化を図る。機器の導入やオペレーターを育成し、将来的には地区外からの作業も受託できる体制を整える。 除草作業や水稲の水管理などの共同作業を先端機器を活用することで省力化し、農業者の負担軽減を図る。</p>
<p>・6次化産業、地域ブランド製品に関する取り組み 農産物加工所を整備し、地域の直売所で取り扱う商品を開発する。(ジビエの調理、販売など) 地域の特産品となる米、茶をブランド化による付加価値をした上で、インターネット販売を活用した販路拡大を図る。</p>

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

アンケート調査等による 将来の農地貸付け等の意向	貸付け等の区分(m ²)		
	貸付け	作業委託	売渡
下野西地区	23,050		50,190